

問1 江戸時代において、西洋の書物の輸入制限が緩和されたことを背景に、オランダ語を通じて西洋の学問を研究する動きが盛んになりました。このような学問の体系を何と呼びますか。また、その代表的な成果として杉田玄白らが翻訳した書物の組み合わせとして、正しいものを選びなさい。（2020年 岐阜公立入試 類似）

1. 蘭学 — 解体新書 2. 国学 — 古事記伝 3. 蘭学 — 蘭学事始 4. 国学 — 解体新書

問2 江戸時代初期に九州で発生した島原・天草一揆の背景と、その後の幕府の対応について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2020年 鳥取公立入試 類似）

1. 領主による過酷な年貢の取り立てとキリスト教への激しい弾圧に対し、農民たちが武装蜂起した。 2. 幕府がキリスト教を保護し、仏教を弾圧したことに反対する僧侶たちが暴動を起こした。 3. 鎖国政策を批判する貿易商人たちが、長崎の出島を占拠して幕府軍と衝突した。 4. 一揆の鎮圧後、幕府は信仰の自由を認め、キリスト教徒に踏絵を強制することを禁止した。

問3 島根県に位置するある鉱山は、江戸幕府によって「幕領（直轄地）」として直接管理されました。この鉱山から産出された資源は、当時の日本において高品質な銀貨の原料としても用いられましたが、その鉱山の名称として正しいものを次の中から選びなさい。（2020年 島根公立入試 類似）

1. 石見銀山 2. 佐渡金山 3. 生野銀山 4. 別子銅山

問4 19世紀初め（文化・文政期）を中心に、江戸の庶民の間で流行した「化政文化」について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2025年 群馬公立入試 類似）

1. 浮世絵、落語、相撲、川柳といった、庶民の生活や感情を反映した娯楽や文芸が広く親しまれた。 2. ふすまや屏風に季節の移り変わりを描く日本独自の大和絵が、貴族の間で最も重要な娯楽とされた。 3. 南蛮貿易の影響を強く受けたキリスト教的な価値観に基づく衣服や生活習慣が、江戸の町人の主流となった。 4. 書院造の建物の中で行われる茶の湯や、枯山水の庭園を鑑賞する文化が、地方の農民にまで浸透した。

問5 18世紀後半、パリの民衆がバスティーユ牢獄を襲撃したことをきっかけに始まり、市民が自由や平等を求めて絶対王政を倒した出来事を何というか。（2022年 青森県公立入試 類似）

1. フランス革命 2. アメリカ独立戦争 3. 産業革命 4. 宗教改革

問6 江戸幕府は17世紀前半、キリスト教の布教を警戒してスペインやポルトガルの来航を禁止しましたが、オランダに対しては長崎の出島での貿易を許可し続けました。オランダが他のヨーロッパ諸国と異なり、日本との貿易を維持できた背景として適切な説明はどれですか。（2022年 奈良公立入試 類似）

1. オランダはスペインとの独立戦争を経て、キリスト教の布教よりも貿易による実益を優先する姿勢を示したから。 2. オランダはキリスト教の中でもカトリックを信仰しており、幕府の宗教政策に協力したから。 3. オランダは日本国内のキリシタン弾圧を止めるよう幕府に強く抗議し、外交交渉を有利に進めたから。 4. オランダは当時アジア最大の軍事力を持ち、武力によって幕府に貿易を認めさせたから。

問7 18世紀半ば、近畿地方周辺の農村では綿花や菜種といった、売買を目的とした作物の栽培が盛んになりました。これにともない、干し鰯（ほしか）などの肥料（金肥）の価格が高騰しましたが、当時の農村経済の状況と農民の動きについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2018年 神奈川公立入試 類似）

1. 商品作物の増産に不可欠な干し鰯の価格が高騰し、商人による独占販売に反対した農民たちが、適正な価格や自由な販売を求めて国訴（こくそ）と呼ばれる集団訴訟を起こした。 2. 幕府が貨幣の質を改善して小判の価値を高めたことにより、肥料の価格が劇的に下落したため、農民は商品作物の栽培を止めて米作りに専念するようになった。 3. 長崎貿易における銅の輸出を制限したことで肥料の流通が滞り、肥料を購入できなくなった農民たちが、幕府に対して新しい肥料の開発許可を求める一揆を頻発させた。 4. 江戸の商人による米の買い占めが進んだことで肥料の原料となる魚が不足したため、幕府はすべての干し鰯を買い上げて農村に安く配給する制度を全国に導入した。

問8 江戸時代の農業では、生産効率を高めるための道具の改良が進みました。それまでの「こきばし」に代わって普及し、多くの歯の間に稲束を通して粃（もみ）を効率よく落とすことができるようになった脱穀用の農具を選んでください。（2024年 秋田県公立入試 類似）

1. 備中鍬（びっちゅうぐわ） 2. 千歯こき（せんばこき） 3. 踏車（ふみぐるま） 4. 唐臼（からうす）

答え合わせ・解説

- 問1** **答え 1**
蘭学 — 解体新書
- 8代将軍・徳川吉宗は実学を奨励し、1720年にキリスト教に関係のない漢訳洋書の輸入の禁を緩めました。この政策がきっかけとなり、西洋の進んだ科学技術や医学に関心が集まり、オランダ語を通じて西洋を学ぶ「蘭学」が大きく発展しました。その象徴的な事例が、前野良沢や杉田玄白らによる『ターヘル・アナトミア』の翻訳作業である『解体新書』の出版です。
- 問2** **答え 1**
領主による過酷な年貢の取り立てとキリスト教への激しい弾圧に対し、農民たちが武装蜂起した。
- 島原・天草一揆は、厳しい年貢の取り立てに加え、幕府や領主によるキリスト教への弾圧に抵抗して、島原（長崎県）や天草（熊本県）の農民たちが天草四郎（益田時貞）を首領として起こした大規模な反乱です。幕府はこの一揆を鎮圧した後、禁教政策をさらに徹底させ、ポルトガル船の来航禁止や、絵踏（踏絵）による信徒の摘発、寺請制度による民衆の統制を強めていくことになりました。
- 問3** **答え 1**
石見銀山
- 島根県に位置する石見銀山は、戦国時代から江戸時代にかけて日本最大の銀山として知られました。関ヶ原の戦い以降、江戸幕府はその強大な経済力を独占するため、大名に預けず自らの直轄地である「幕領」として管理しました。ここで産出された銀は丁銀などの貨幣に加工されたほか、東アジア貿易における重要な決済手段としても世界的に流通しました。
- 問4** **答え 1**
浮世絵、落語、相撲、川柳といった、庶民の生活や感情を反映した娯楽や文芸が広く親しまれた。
- 化政文化は、江戸時代後半の江戸を中心に栄えた、極めて庶民色の強い文化です。歌川広重や葛飾北斎による浮世絵、寄席で演じられる落語、興行として定着した相撲、さらに世相を風刺する川柳などが、町人たちの間で爆発的に普及しました。選択肢にある大和絵は平安時代から続く伝統的な手法であり、南蛮文化は安土桃山時代から江戸初期、書院造や茶の湯は東山文化や桃山文化の特色です。
- 問5** **答え 1**
フランス革命
- 18世紀後半のフランスで、旧体制（アンシャン＝レジーム）に対する不満から市民が立ち上がり、絶対王政を崩壊させた一連の動きを指す。この過程で「人権宣言」が出され、自由・平等の精神が掲げられた。選択肢にあるアメリカ独立戦争はイギリスからの独立を求めた戦い、産業革命は技術革新による社会変化、宗教改革はキリスト教の改革運動であり、これらはバスターニーユ牢獄襲撃とは直接関係がない。
- 問6** **答え 1**
オランダはスペインとの独立戦争を経て、キリスト教の布教よりも貿易による実益を優先する姿勢を示したから。
- スペインやポルトガルがカトリックの布教を伴う交易を行っていたのに対し、プロテスタント諸国の一つであったオランダは、幕府に対して「布教は行わず貿易のみを行う」ことを約束しました。幕府はキリスト教を通じた領土侵略や国内の混乱を恐れていたため、宗教色を排除してビジネスに徹したオランダを唯一のヨーロッパの取引相手として選んだのです。
- 問7** **答え 1**
商品作物の増産に不可欠な干し鰯の価格が高騰し、商人による独占販売に反対した農民たちが、適正な価格や自由な販売を求めて国訴（こくそ）と呼ばれる集団訴訟を起こした。
- 18世紀の農村、特に近畿地方では、綿花や菜種などの商品作物の栽培が広がりました。これらの作物を効率よく生産するためには、干し鰯や油かすといった、現金で購入する「金肥（かなごえ）」が必要不可欠でした。しかし、需要の増加に加えて、特権を持つ株仲間などの商人が販売を独占したことで肥料価格が跳ね上がり、経営を圧迫された農民たちは、周辺地域の村々と連携して「国訴」を行い、商人の独占反対や流通の自由を訴えました。選択肢にある小判の品質改善や銅の輸出抑制は、この文脈における価格高騰の直接的な解決策や背景とは一致しません。
- 問8** **答え 2**
千歯こき（せんばこき）
- 「千歯こき」は、それまでの箸のような道具で一束ずつ扱っていた「こきばし」に比べ、一度に大量の籾を脱穀できる画期的な農具でした。その脱穀の速さから「後家倒し」という別名がつくほど、農作業の効率を劇的に向上させ、江戸時代の農業発展を支える大きな要因となりました。